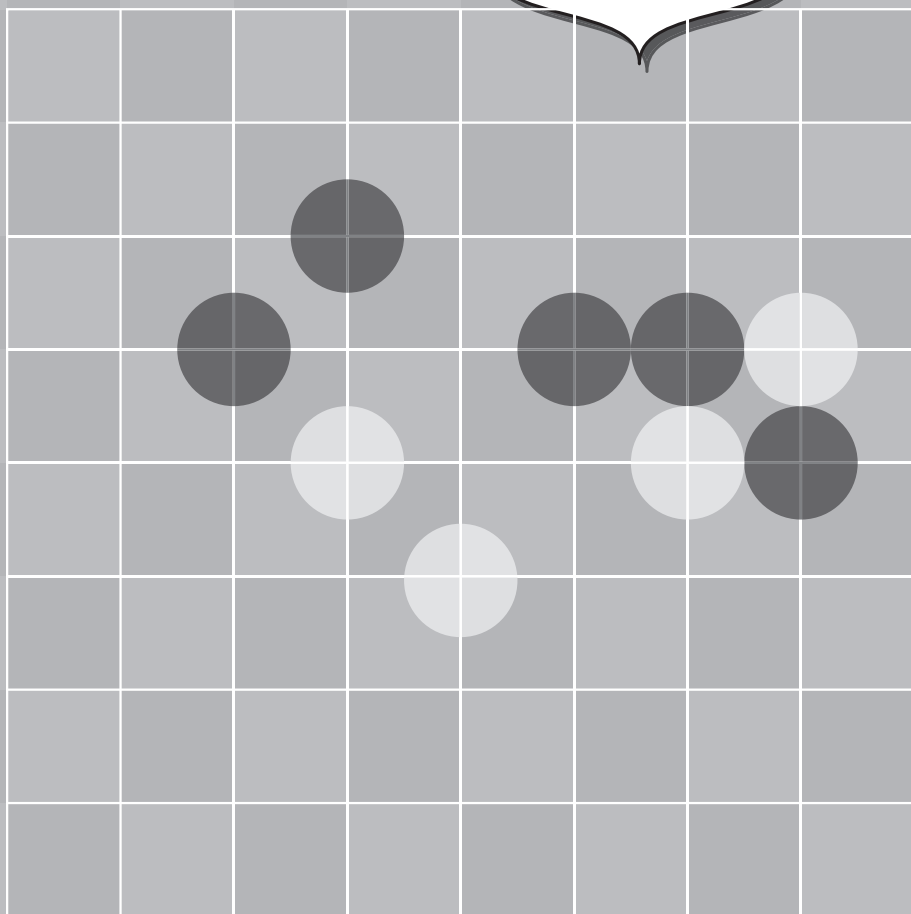


# 囲碁入門 ネクスト

9路盤



1

日本棋院

第3章

# 目次

はじめに――2／基本の道具――4／基本のマナー――5／基本ルールの復習――6

## 第1章 模範碁〈前半〜中盤〉――11

## 第2章 基本ルールをふまえた戦い方――21

ルール2 「縦横の線で隣り合った石は二つの仲間になる」の戦い方――22

ルール3 「線の出ている石は取れる」の戦い方――27

ルール5 「線が出ない所でも、相手の石を取れる場合は置ける」の戦い方――33

## 第3章 石の強弱と攻防――41

石の強弱を見分ける――42／相手の石を攻める――47／自分の石を守る――53

## 第4章 石を取る技――61

「3手の読み」を考える――62／「両アタリ」で攻める――63／「オイオトシ」で攻める――69／「シチヨウ」で攻める――75

## 第5章 総合問題――83

おわりに――94

コラム……囲碁は「打つ」もの――20／囲碁とコンピューター――40／囲碁の別称――60／囲碁を愛した偉人――82

## 第3章

# 石の強弱と攻防

本章では、石の強弱の見分け方を学びます。  
石の強弱を知ること、  
上手な攻め方と守り方がわかります

# 石の強弱を見分ける

盤上に置かれた石には、「強い石」と「弱い石」があります。**お互いの**

**石の強弱を判断し、それに合わせた戦い方を指すのが、上手に囲碁を打つポイントになります。**

## 石の強弱のはかり方

- ① 石数(多いと強い・少ないと弱い)
- ② 連絡(つながると強い・切れると弱い)
- ③ 手数(石から出ている線の本数が多いと強い・少ないと弱い)
- ④ 陣地(相手が置けない場所を多く持っている石は強い・少ないと弱い)

①石数は多いほうが強くて、少ないほうが弱いのです。

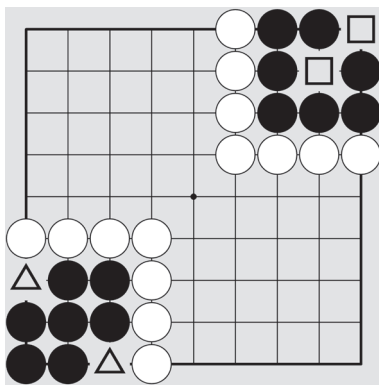
②は22ページで説明したつながっている守りの堅い強い石で、つながっていない石は相手に攻められる弱い石ということです。

③は27ページで話したように、石から出ている線が多ければ相手に取られにくい強い石、逆に線が少ないと取られやすい弱い石となります。

④「陣地を持っている石は強い」とはどういうことでしょうか。1図の右上黒7子も左下黒7子も、同じ石数①、つながっている石②、手数も一見2手③で同じ強さに見えます。

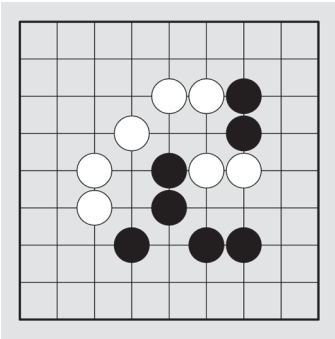
しかし、右上口は「白が置けない

1 図

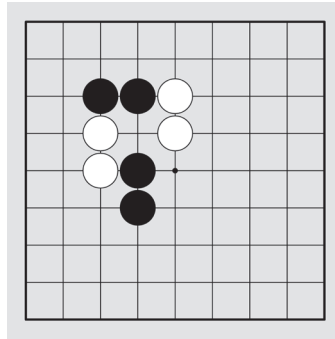


黒の陣地」なのに対して、左下△は白がいつでも置くことのできる場所です。たとえどんなに相手に囲まれていても、陣地を多く持っていれば安全なのです。石の攻防ではお互いの強弱をよく比較して戦いましょう。

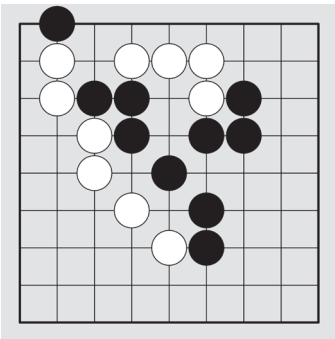
第40問



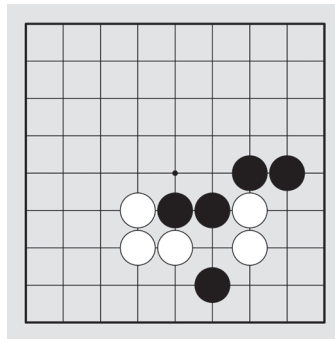
第37問



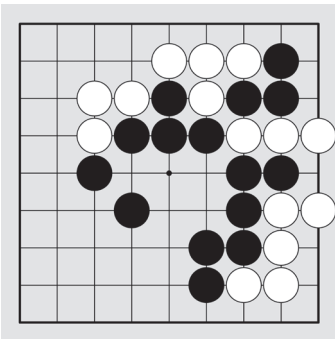
第41問



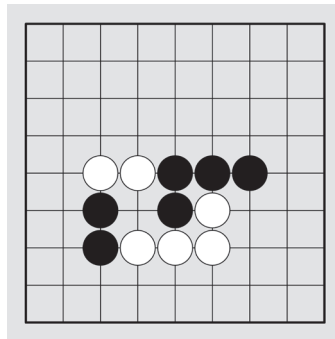
第38問



第42問

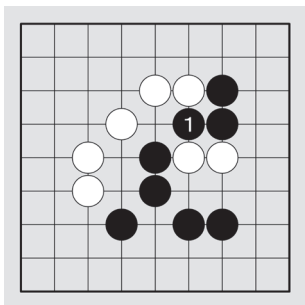


第39問

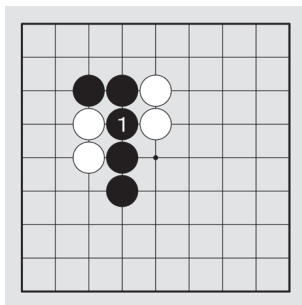


黒を一つ置いて  
白を黒より弱くしてください

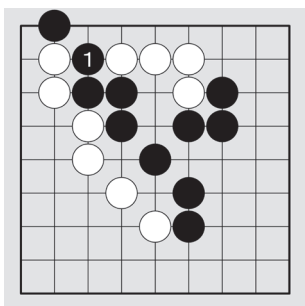
### 第 40 問



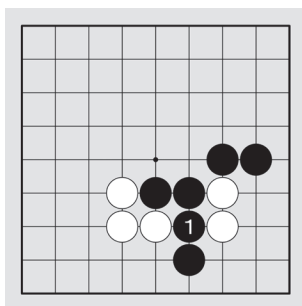
### 第 37 問



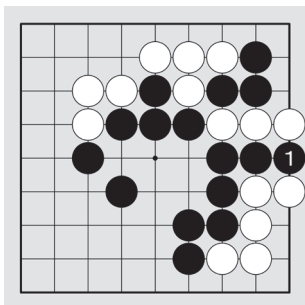
### 第 41 問



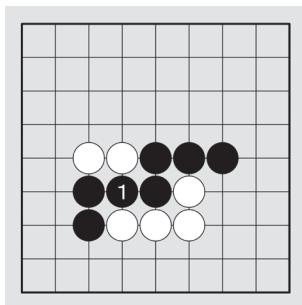
### 第 38 問



### 第 42 問

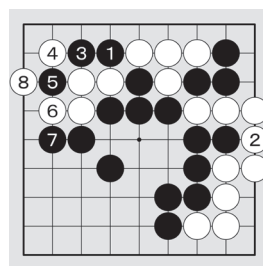


### 第 39 問



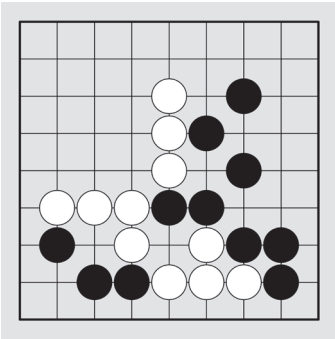
#### 第 42 問 参考

①の手も白を切ったことには違いありません。しかし、右下の弱い白が②でつながって強くなってしまいました。一方、左上の白を③から攻めても、周りに白が多いので⑤が取られて失敗です。手数が少なくて弱い相手の石を切りましょう。

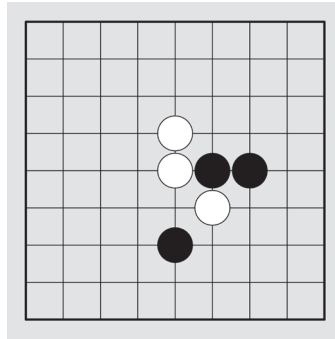


黒を一つ置いて  
白を黒より弱くしてください

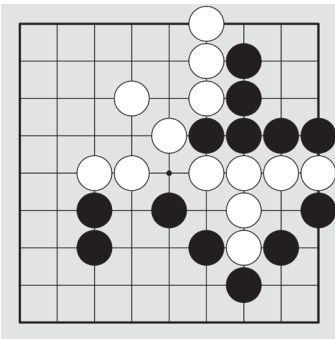
第46問



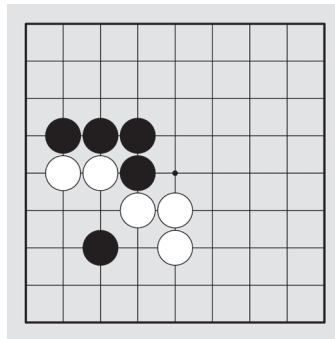
第43問



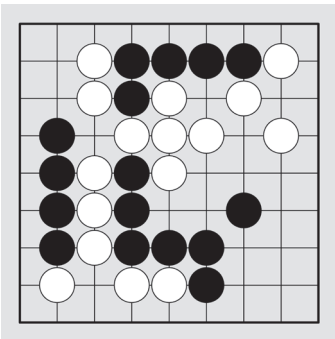
第47問



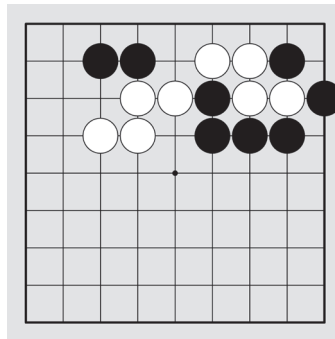
第44問



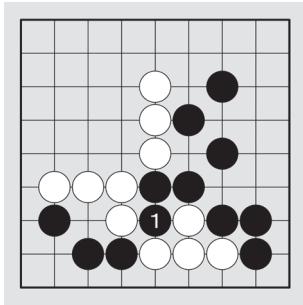
第48問



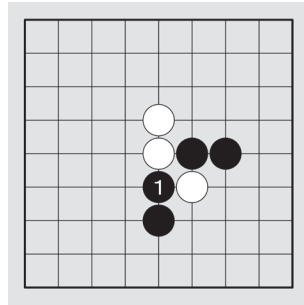
第45問



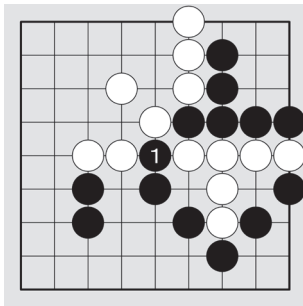
### 第46問



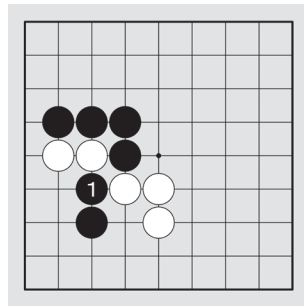
### 第43問



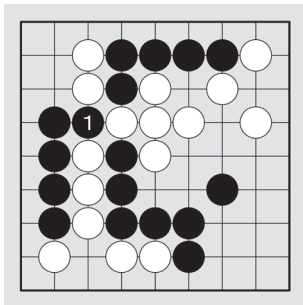
### 第47問



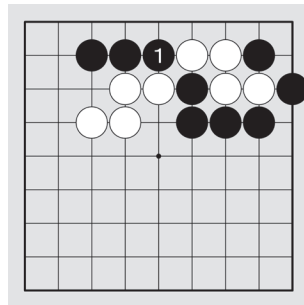
### 第44問



### 第48問

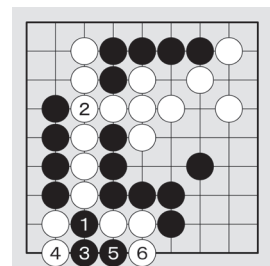


### 第45問



#### 第48問 参考

①で切ると、白は②につながり丈夫になってしまいました。  
 黒は③と逃げましたが、追いかけて⑥で取られてしまいます。相手を切った石が取られてしまっは意味がありません。切る時は仲間とつながりながら攻めましょう。



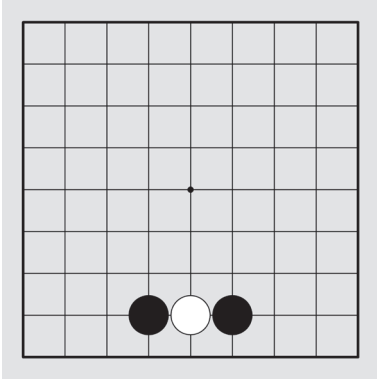


# 相手の石を攻める

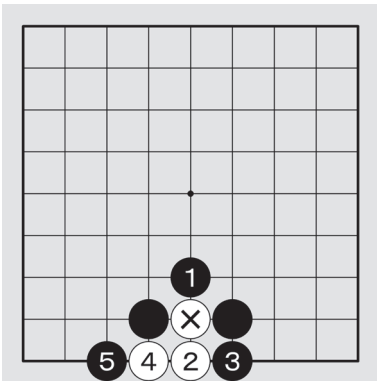
石を取るか取られるかの「攻防」のコツをお話しします。

- 相手の石を攻めるコツ**
- ① 相手の手数を減らす
  - ② 相手の手数が増えないほう（盤の端や味方が多い所）へ追い込む
  - ③ 相手の石を切る

1 図



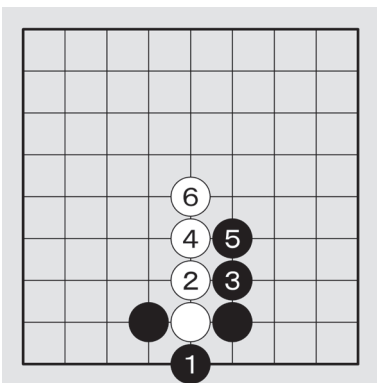
2 図



....> ○×3

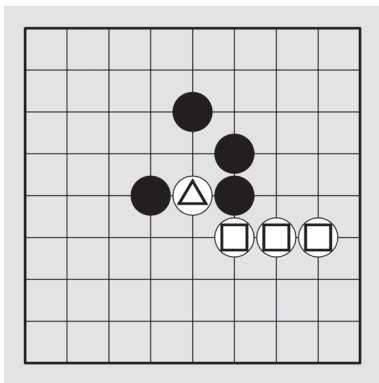
1 図の白石を取りたい場合、どのように攻めるとよいでしょうか。この場面では、2 図の①から攻める方法が正解です。①でアタリにして白の線を残り1本に減らし①、線の数が少ない盤の端②へと追い込みながら⑤で白石を取れました。

3 図

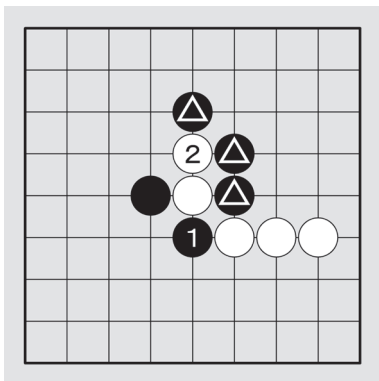


3 図の①のように、盤の端から白石を攻めるとどうなるでしょうか。①でコツ①を使って白から出ている線をふさぎましたが、コツ②が失敗です。②・④・⑥と線の数が多い中央へどんどん逃げ出されてしまいました。これではとてもつかまえられません。

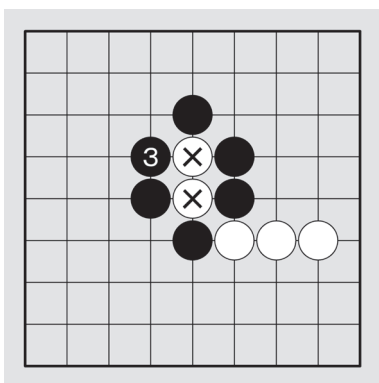
### 4図



### 5図



### 6図



....> ○×2

それでは、4図の白石をどのようにして取りますか。

◎は3子がつながっていて手数も7手と多く、つかまえるのは大変そうですね。1子で手数が2手しかない△を狙いましょう。しかし△は盤の端まで遠く、近くに◎3子があることも考えて上手に攻めない逃げら

れてしまいそうです。

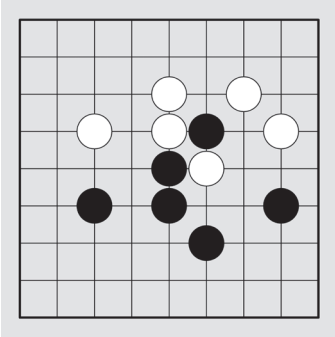
ここで良い手が5図の①の攻め方です。①に置くことで、コツ③の白を切り離すことに成功しました。また、黒の味方△が待ち構えているほうへ向かわせてコツ②も成功です。白が2子になって逃げようとしても出ている線は1本だけなので、黒

は6図の③で白2子を取ることができました。このように**相手がアタリになるように追い詰めましょう。**

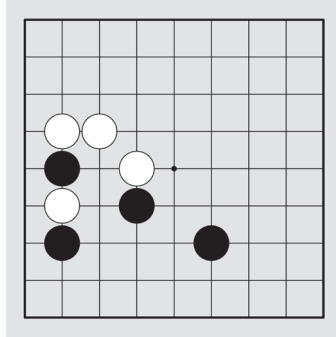
戦いでは常に「攻防」を考えなくてはなりません。まずは「攻撃は最大の防御なり」で「攻め」に強くなりましょう。

黒を一つ置いて  
危ない白を上手に攻めてください

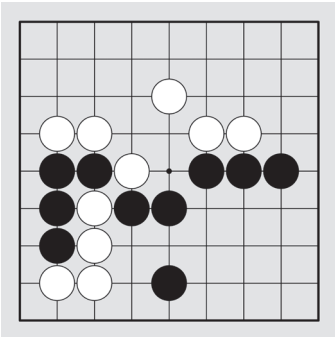
第 52 問



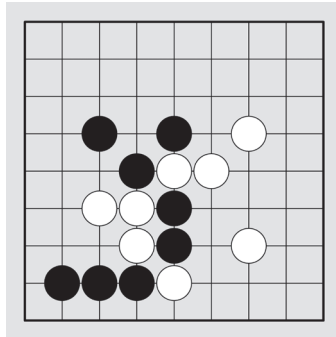
第 49 問



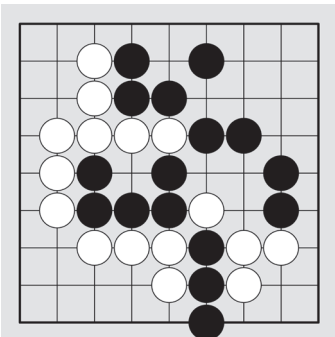
第 53 問



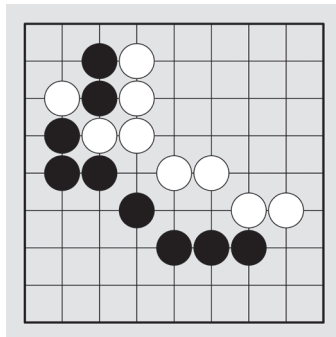
第 50 問



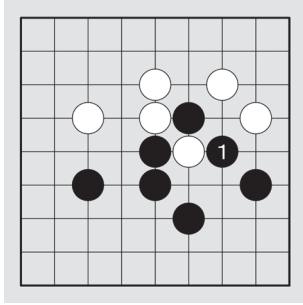
第 54 問



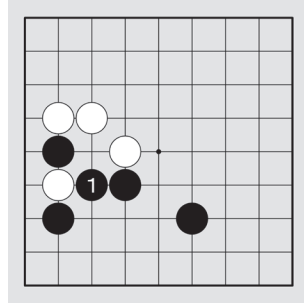
第 51 問



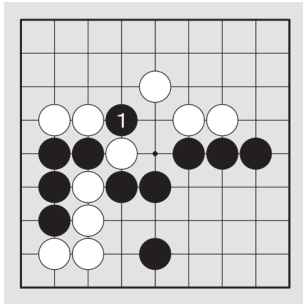
### 第 52 問



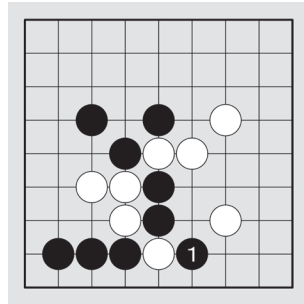
### 第 49 問



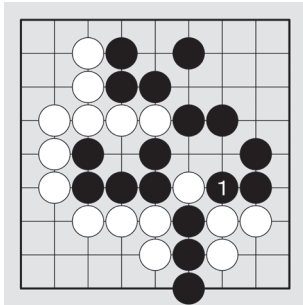
### 第 53 問



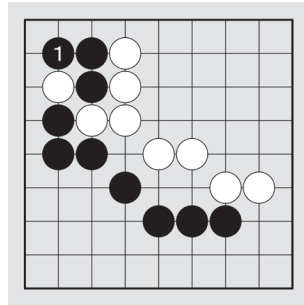
### 第 50 問



### 第 54 問

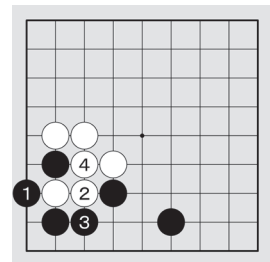


### 第 51 問

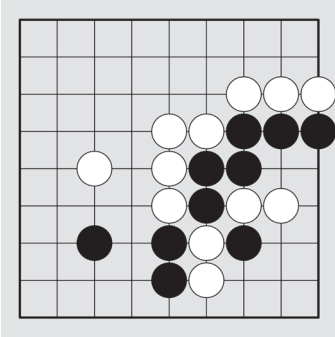


#### 第 49 問 参考

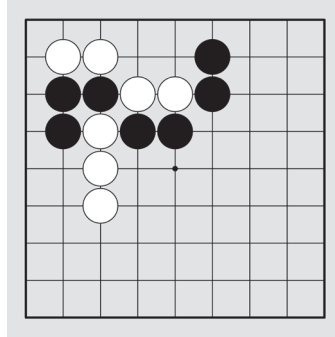
①から追いかけると、②に逃げられてしまいます。③でアタリにしても、④で広い所にいる仲間とつながれてはもう取ることができません。盤の端や相手の石が少ないほうへと追いかけることが大切です。



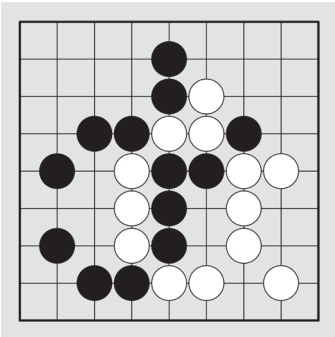
第 58 問



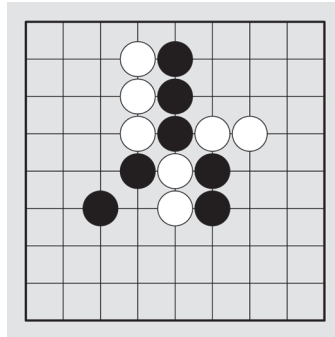
第 55 問



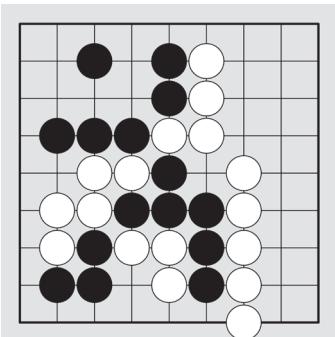
第 59 問



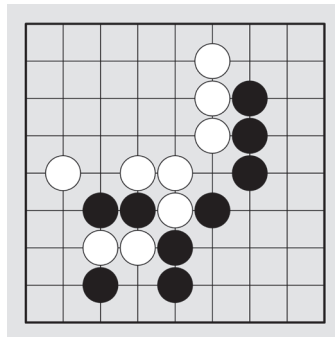
第 56 問



第 60 問

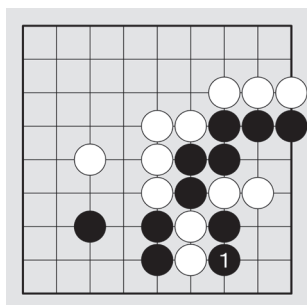


第 57 問

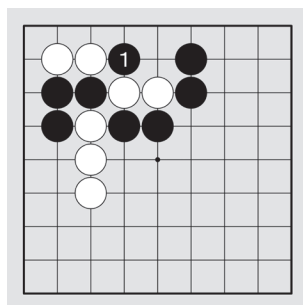


黒を一つ置いて  
危ない白を上手に攻めてください

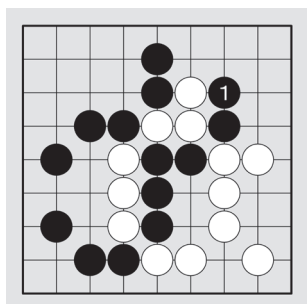
### 第 58 問



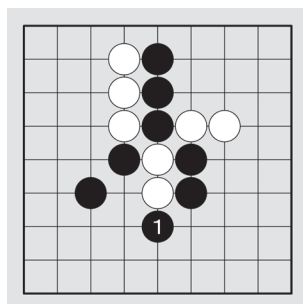
### 第 55 問



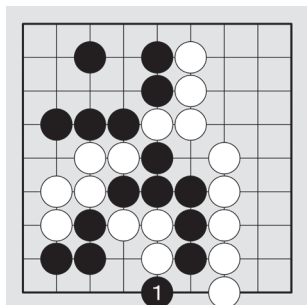
### 第 59 問



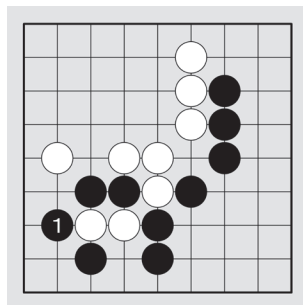
### 第 56 問



### 第 60 問

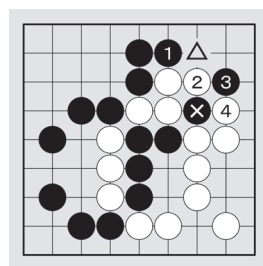


### 第 57 問



#### 第 59 問 参考

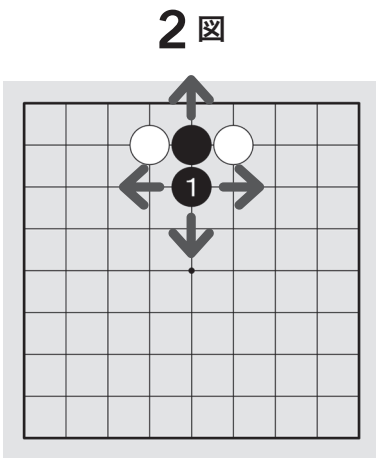
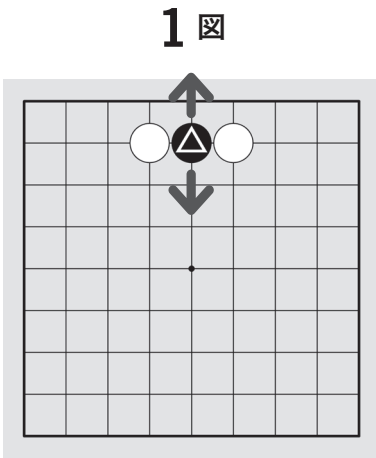
①から白を追いかけるのは、②に逃げられた時に待ち構えていた黒石がアタリになってしまいます。③から再度白をアタリにしても、④で×を取られてしまいました。また、④の時に△へと逃げることもできます。



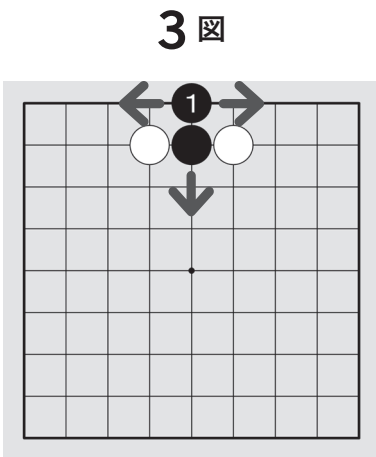
# 自分の石を守る

石の戦いに攻めがあれば、もちろん守りもあります。守りとは石を取られないようにすることです。

**1図**をご覧ください。**▲**が白に囲まれて線が2本しか出ていません。このような弱い石を守るためのコツは次の4点です。



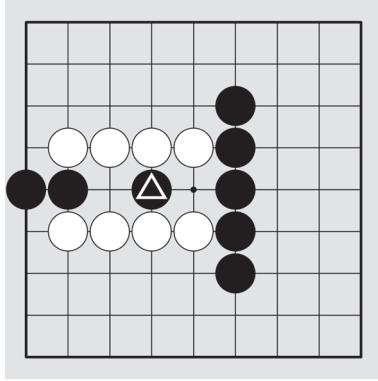
- 自分の石を守るコツ
- ① 石を増やして手数を増やす  
(手数が増える広いほうへと逃げる)
  - ② 強い仲間の石とつながる
  - ③ 相手の置けない所(陣地など)を作る
  - ④ 相手の石を取る



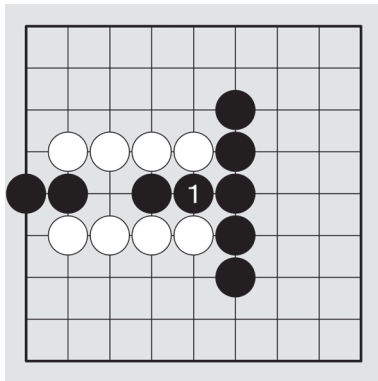
**1図**の**▲**を守る手が**2図**の**①**です。黒2子はつながって、出ている線が4本になりました。線の数が多くて広い中央にも向かって安全です。

ここで**3図**の**①**に置くとうなるでしょう。端に向かってしまい、線が3本しか出ていません。これではつかまる可能性が高くなります。

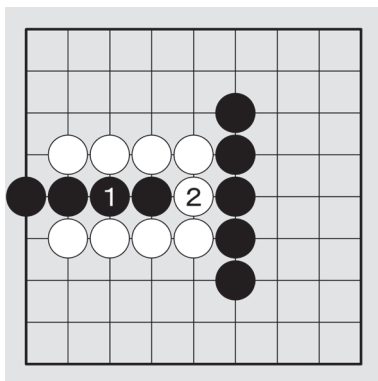
### 4図



### 5図



### 6図



②の「強い仲間の石とつながる」は、**4図**をご覧ください。**△**は孤立しており、周りに白が多くて危険です。この時、左右どちらの黒とつながるのがよいでしょうか。

**5図**の**①**が正解です。線が多く出ている右側の仲間とつながることで、危ない石を守りました。

**6図**のように、出ている線の数が少ない仲間とつながるとどうなるでしょうか。次の白番で**②**と切られると、つながった黒4子がまとめて危険な状態になってしまいました。

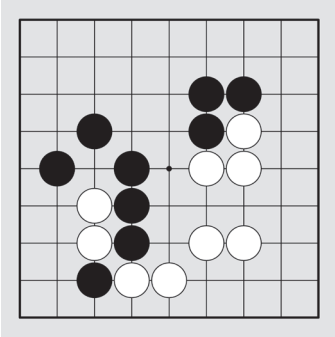
このように、**盤上にはつながつても頼りにならない石もあるのです**。**③**は42ページのコツ**④**の解説をご

覧ください。

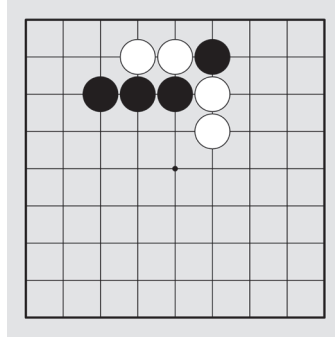
最後の**④**は言わずもがなですね。弱そうな自分の石でも、周りにいる相手を取つてしまえば、攻められることがないので、「自分だけが弱い」と思わずに、積極的に行動することが大切です。



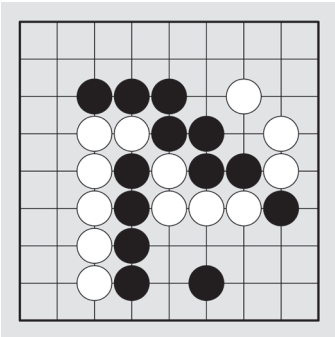
第 64 問



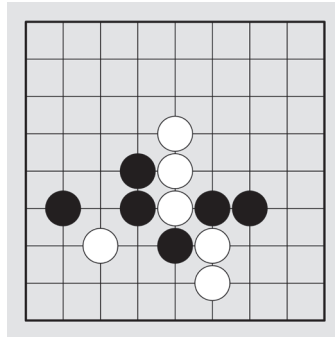
第 61 問



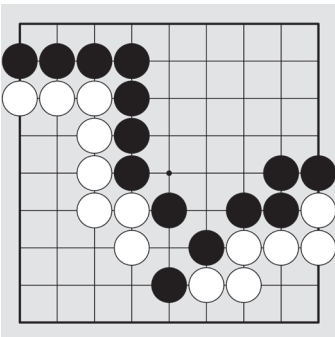
第 65 問



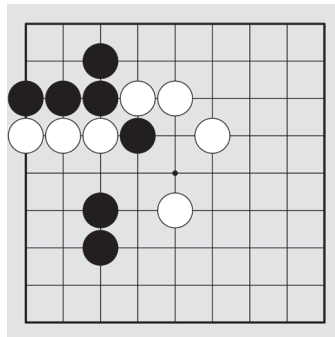
第 62 問



第 66 問

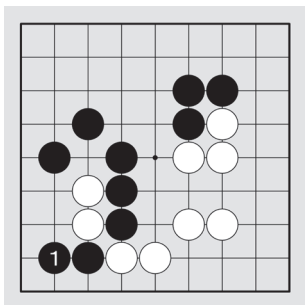


第 63 問

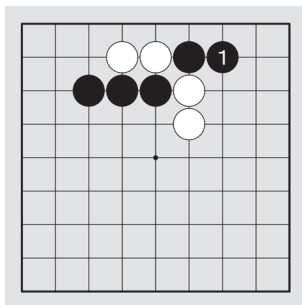


黒を一つ置いて  
危ない黒を強くしてください

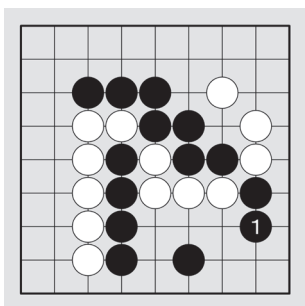
### 第 64 問



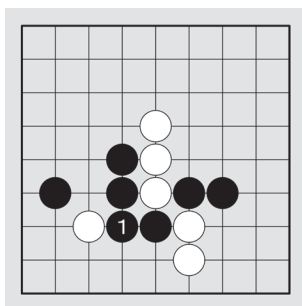
### 第 61 問



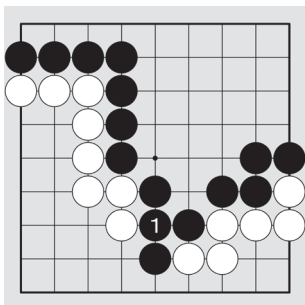
### 第 65 問



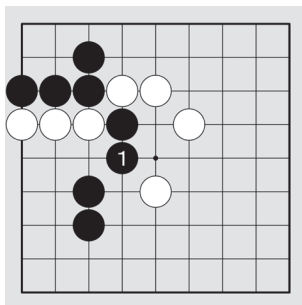
### 第 62 問



### 第 66 問

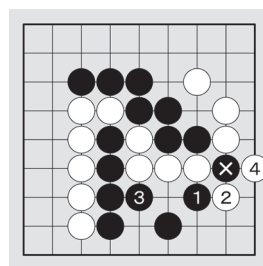


### 第 63 問



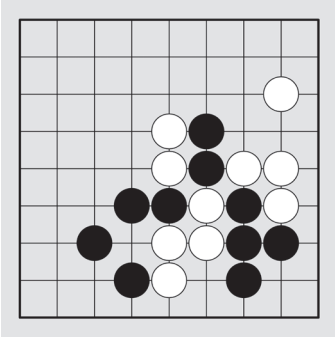
#### 第 65 問 参考

①のように相手の石を早く取ろうとして、自分の弱い石を忘れてはいけません。②に切られると、③で白4子をアタリにしても④で先に×を取られてしまいます。自分の弱い石はしっかりとなくしておきましょう。

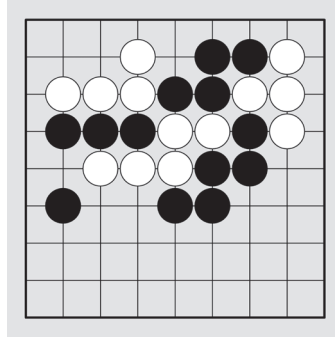


黒を一つ置いて  
危ない黒を強くしてください

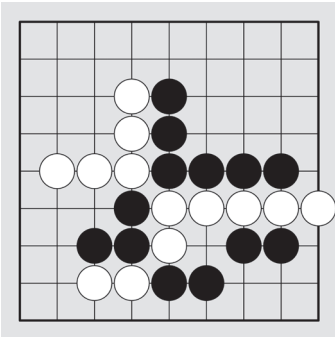
第 70 問



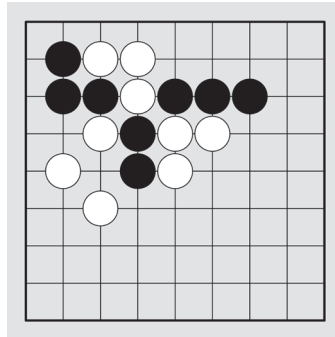
第 67 問



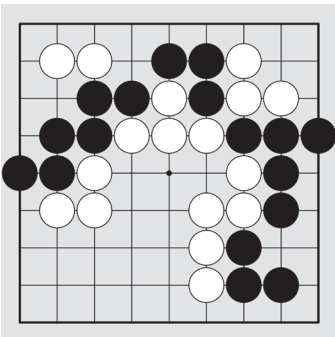
第 71 問



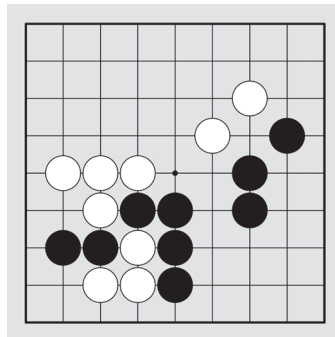
第 68 問



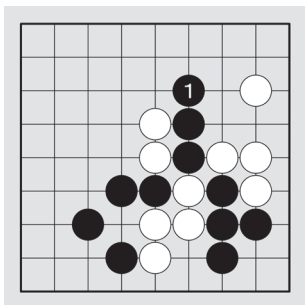
第 72 問



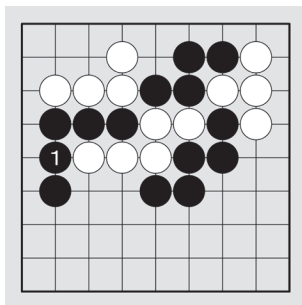
第 69 問



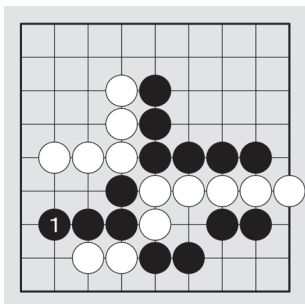
### 第70問



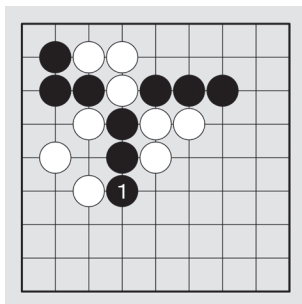
### 第67問



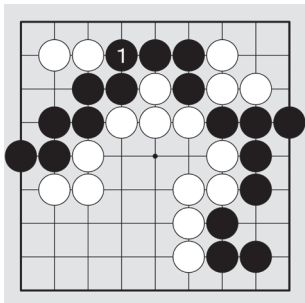
### 第71問



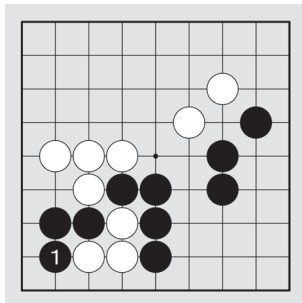
### 第68問



### 第72問

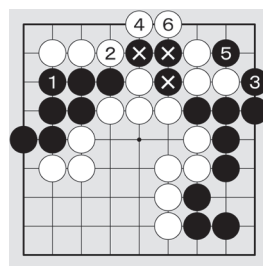


### 第69問



#### 第72問 参考

①はすでにつながっている所で、守る必要はありません。白を攻めたつもりでも②で黒が切り離されて、⑥で先にとられてしまいます。手数のない弱い石をつなげて強くしましょう。



# 解説

1図は第71問の正解図です。①は、  
 ▲から出ている線を2本から4本に  
 増やすよい手でした。②で攻めてこ  
 られても、①・▲からはまだ3本の  
 線が出ています。

このように、自分が石を置いた時  
 点で今までよりも出ている線を2本

以上増やせば、相手に攻められても  
 強い状態にすることができます。

1図のあとに、2図の黒3で線の  
 少ない白6子を攻めていけば、⑦で  
 先に⊗を取ることができます。

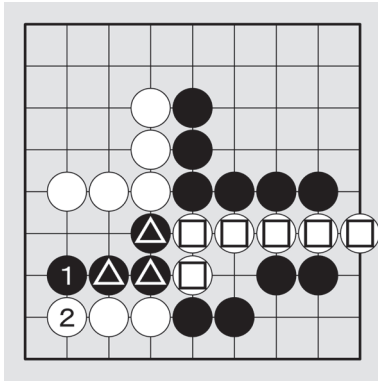
たとえば、黒が3図の③の手を選  
 んで、⊙3子を攻めていっただろう

なるでしょう。黒4子から出ている

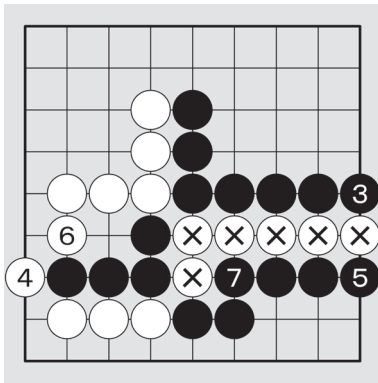
線はまだ3本なので、⊙3子の3本  
 と同じです。④から詰められて、⑧  
 で先に⊗が取られてしまいました。

出ている線⇨手数が少ない石を攻  
 めましょう。

1図

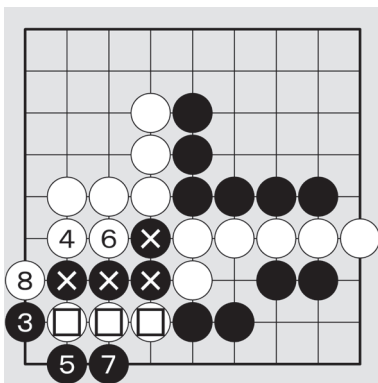


2図



....> ⊙×6

3図



# 囲碁の別称

古代中国では、囲碁のゲームを「弈えき」といった言い方です。

それが「碁き」「棋き」となり、盤上に打つ道具が「玉ぎよく」や「石」を使うようになったあたりから、「碁き」になったとされています。

そこに、囲碁の目的である「陣地を囲む」「石を囲んで取る」の「囲む」が足されて、「囲碁」が定着しました。

この由来がわかると、日本の囲碁組織を「日本棋院いん」と呼び、プロを「棋士」と呼ぶ理由が納得できるのではないのでしょうか。中国では、今でも囲碁のことを「囲棋」や単に「棋」というようです。

じつは、他にもさまざまな別称があります。

囲碁は言葉を交わさなくても、盤上をとおして心

が通じ合える所から「手談しゅだん」とも呼びます。

また、黒石を「烏からす」、白石を「鷺さぎ」に見立てて、「烏鷺」とも表現し、文学作品などで「烏鷺を戦わせる」といえば囲碁を打っていることになります。

他にも、碁盤は四角で「方ほう」、石は丸い「円えん」なことから「方円ほうえん」ともいわれます。

面白いものでは、中国の樵せうが山へ入ったところ、仙人の打っている碁が面白くて、見ている間に月日が経ってしまい、村に帰ったら斧が腐っていたという浦島太郎のような故事から、「欄柯らんか（柯か||斧・欄||ただれる）」という呼称もあります。

このような文化的側面から、囲碁を楽しむのも一興いっけいですね。

---

# 囲碁入門ネクスト①〈9路盤〉

## 第3章

監修：棋士 水間 俊文

---

© NIHONKIIN All Rights Reserved.

〒102-0076 東京都千代田区五番町7-2

公益財団法人 日本棋院

☎ (03) 3288-8723

<https://www.nihonkiin.or.jp/>

---

本書掲載の文章・図版の無断複製・転載・印刷を禁じます。